

志免町地域防災力アップ事業

日本防災士会 福岡県支部

×

志免町生活安全課

解決しようとする地域課題

自主防災組織を強化し、地域の防災力を高めたい！

志免町では町内会単位で自主防災組織が取り組まれているが、活動内容をどうしたらよいか悩みを抱える組織が多く、また避難所運営訓練のような実践的なノウハウを得ることが難しい状況にある。

【担当課の強み】

すでに自主防災組織との関係性があり、スムーズな連絡調整が可能

【担当課の弱み】

自主防災組織の自律支援に対する専門性がない



【団体の強み】

防災活動に関するノウハウやプログラム、人的資源を有している

【団体の弱み】

志免町で取り組むにあたって地域組織と関係性を構築するのが難しい

事業の概要

町内の地域住民を対象として、防災・減災に関する自主性の高い取り組みにつながるようなプログラムを作成、実施することで、地域における自主的な防災活動の土台づくりに貢献することを目的とし、地域での防災・減災プログラム作成と実践を行った。

【主な内容】

- ・ハザードマップ作成に向けたフィールドワーク
- ・防災意識調査アンケート、講座やワークショップの開催
- ・ステップアップ編として、自主防災組織の自発的な取り組みに対する間接支援、情報提供、助言など

取り組みに関する経過共有・打合せ



実施内容（1）

■ 町内会向け事業説明会（R3.6月）

● 申込のあった5町内会のうち、4町内会・9名が参加

（継続：桜丘南、別府二、新規：成和、東区）

- ・事業メニュー紹介（初級編、ステップアップ編）
- ・先進事例として、桜丘南町内会での取り組みを紹介
- ・町内会ごとの個別ヒアリング

※別府二町内会、東区町内会については、新型コロナの感染リスクを懸念する声が町内会からあったため、打合せのみの実施となった。

実施内容（2）

■ 成和町内会での取り組み

● 自助、共助に関する講座の実施（R3.10月）

- ・町内会役員等8名が参加

● ハザードマップ作成に向けた「防災まちあるき」

- ・R3.11月：町内会役員等12名が参加
- ・R3.12月：町内会役員等18名が参加

● 防災意識に関するアンケート調査（R4.1月～3月）

- ・町内会加入431世帯（域内全体の約2/3）に配布、315世帯より回収。回収率73%

実施内容（3）

■ 桜丘南町内会での取り組み（ステップアップ編）

● 自主防災部とのオンライン打合せ（R3.8月）

- ・町内会役員等6名が参加
- ・自主防災部主催の防災祭り、防災計画策定についての情報提供、助言、意見交換等

● 「桜丘南町内会防災展」の運営協力（R3.11月）

- ・地域住民等（子ども含む）88名が参加

※当初は心肺蘇生等の体験企画や当会メンバーによる講話などを予定していたが、感染状況を踏まえ、展示に切り替えた。

桜丘南町内会での防災展チラシ

桜丘南町内会自主防災部



令和3年8月18日 宇美町ひばりが丘法面崩落

防災クイズ(景品あり!)、避難所の展示

【志免町生活安全課】

災害食の紹介とレシピ配布

【食生活改善教室】

身近で起きた災害のパネル展示、
防災マップ展示、来場者プレゼント!

【自主防災部】

防 災 展

～身近な災害を知ろう～

令和3年11月14日(日)

10:00～12:00

桜丘南公民館にて開催

*ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。
発熱、体調不良等の症状がある方は、
来場をご遠慮ください。
小学生以下のお子さんは、おうちの方の許可をもらって参加してください。

桜丘南町内会での防災展の様子



事業の役割分担

目的：自主防災組織の強化を通じた地域防災力向上

対象：志免町民

内容：町内会単位での防災・減災プログラムの実践

生活安全課

- ・町内会に対する実施地域の募集、選定
- ・実施地域との連絡調整
- ・実施地域に関する情報提供
- ・実施地域での打合せや取り組みへの参加、同席

日本防災士会福岡県支部

- ・事業全体の企画運営、進捗管理
- ・防災・減災プログラムの作成、実践
- ・町内会の自主企画に対する情報提供、助言、協力

事業の成果・効果

成果（目標達成度）

成果指標	提案時の現状値	事業終了時の目標値	事業終了時の実績値
事業実施地域でのハザードマップ作成数	0地区	2地区以上	1地区（桜丘南）
事業実施地域での次年度以降の防災・減災計画策定数	0地区	2地区以上	1地区（桜丘南）

効果

- ・実践を通して、防災・減災に対する意識が向上
- ・コロナ禍での創意工夫、主体性の高まり

協働のプロセスに対する自己評価

課題・目的・目標の共有 上記3つについて明確化の上共有しながら事業を進めることができたか。	○
相互理解 お互いの立場や行動の違いを理解し、 お互いを尊重しながら事業を進めることができたか。	○
対等・自律 対等な立場で自律的に事業を進めることができたか。	○
役割分担 協定書で定めた役割分担に基づき、 お互いが責任を持って事業に取り組むことができたか。 協定書で定めていない役割についても、双方協議の上分担することができたか。	○
情報共有・意見交換 事業についての報告や情報共有、意見交換などを密に行うことができたか。 双方が進捗状況を確認すると共に、意思疎通を図ることができたか。	○
情報公開 事業の進捗状況や成果などについて、ホームページや広報物などを活用して、 積極的に公開しながら事業を進めることができたか。	△

今後の課題と改善策、 令和4年度の取り組み状況

■ 今後の課題と改善策：

- ・取り組みの情報発信、普及啓発
- ・町内会の自主性、積極性を引き出す工夫

■ 今年度の取り組み状況：

- ・継続4町内会、新規1町内会にてプログラムを実践中
(桜丘南、成和、別府二、東区、志免四)